

商業・貿易・金融

卸売・小売業（事業所数、従業者数等）

平成24年2月1日現在（経済センサス－活動調査）の卸売業の事業所数は3,301事業所、従業者数は2万4,172人、年間商品販売額は1兆6,037億円となっています。

また、卸売業の従業者数を業種別にみると、飲食料品卸売業が6,751人（構成比27.9%）で最も多くを占めています。

一方、小売業の事業所数は、1万2,461事業所、従業者数が8万3,200人、年間商品販売額は1兆5,869億円となっています。

また、小売業の従業者数を業種別にみた場合、飲食料品小売業が31,282人（構成比37.6%）で最も多くを占めています。

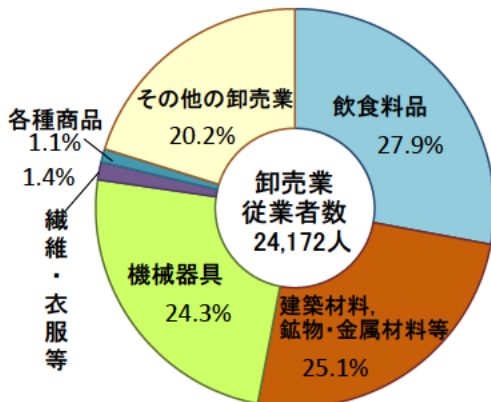
業種別年間商品販売額

年間商品販売額を業種別にみると、卸売業は建築材料、鉱物・金属材料等卸売業4,764億円で最も多く、卸売業年間商品販売額の29.7%を占めており、以下、飲食料品卸売業4,156億円（構成比25.9%）、機械器具卸売業3,844億円（同24.0%）と続いています。

小売業は、飲食料品小売業が4,814億円で小売業年間商品販売額の30.3%を占めており、次いで機械器具小売業3,049億円（構成比19.2%）などとなっています。

図35 卸売業の従業者数の産業分類別構成

平成23年(平成24年2月1日)



資料 総務省「経済センサス－活動調査」

図37 卸売・小売業の年間販売額の産業分類別構成

平成23年

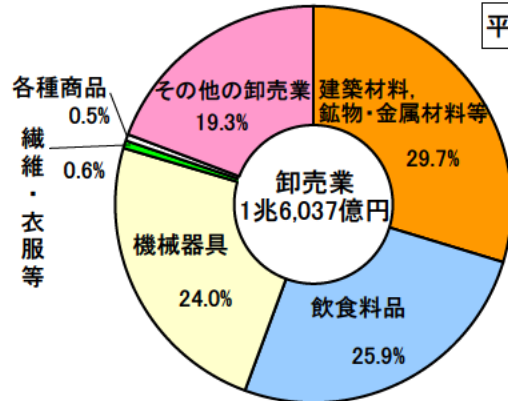
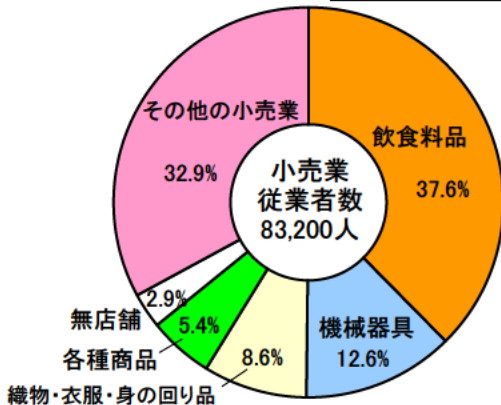


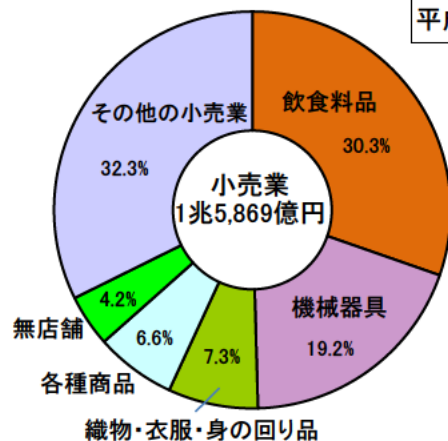
図36 小売業の従業者数の産業分類別構成

平成23年(平成24年2月1日)



資料 総務省「経済センサス－活動調査」

平成23年



資料 総務省「経済センサス－活動調査」

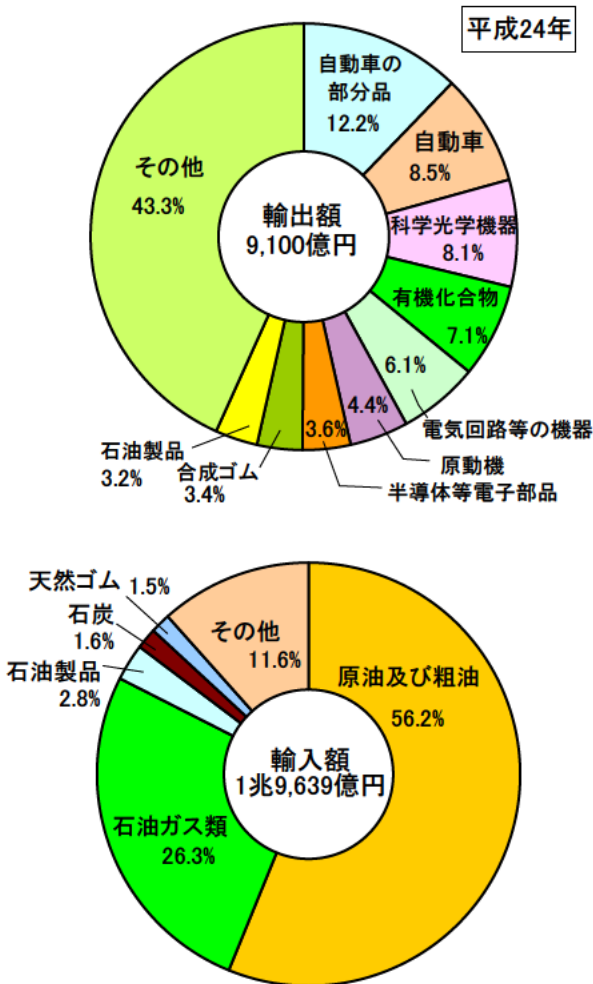
貿易

輸出・輸入ともに本県の大半を占める四日市港の平成24年の貿易状況をみると、輸出額は9,100億円で前年に比べ738億円（7.5%）減少、輸入額は1兆9,639億円で前年に比べ1,111億円（6.0%）増加しました。

品目別でみると、輸出は自動車の部分品が1,111億円（構成比12.2%）で最も多く、自動車が771億円（同8.5%）、次いで科学光学機器737億円（同8.1%）の順となっています。

輸入は原油及び粗油が1兆1,029億円（構成比56.2%）で最も多く、次いで石油ガス類が5,168億円（同26.3%）、石油製品が552億円（同2.8%）の順となっています。

図38 四日市港の品目別貿易状況



資料 名古屋税関「貿易年表」

金融

平成25年3月31日現在の預貯金残高（郵便貯金を除く）は、11兆1,334億円となり、前年に比べ2,161億円（2.0%）増加しました。貸出残高は、4兆7,687億円となり前年に比べ111億円（0.2%）減少しました。

平成25年の企業倒産件数は、103件となり前年に比べ26件（20.2%）減少しました。負債総額は280億円となり318億円（53.2%）減少しました。

図39 預貯金・貸出残高の推移

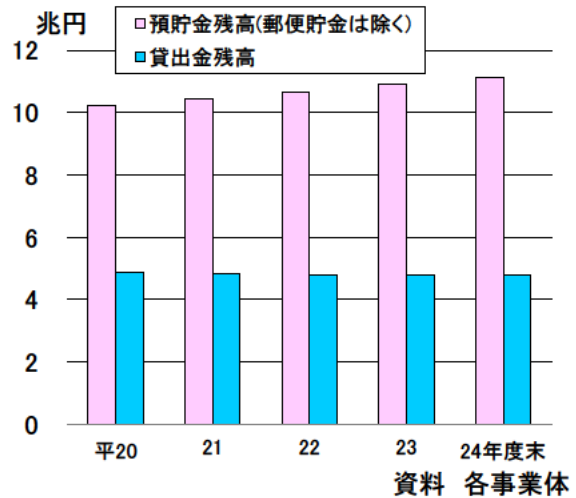
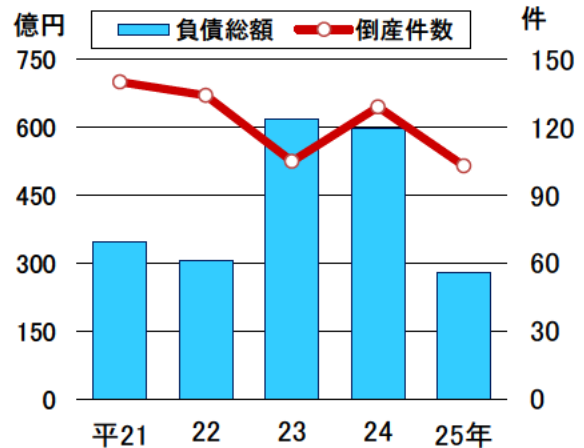


図40 企業倒産状況の推移



資料 (株)東京商工リサーチ津支店